

令和8年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【大宮南小学校】

学力向上 アクションマップ

①	今年度の目標と学力向上策
重点的に育成する 資質・能力	・自らの課題を見つけ、解決するための方法を考え、行動(説明・議論など)できる資質・能力
↓	
実施する学力向上策 【時期・頻度】	・教科横断的な視点で各教科の単元を関連付け、今まで学習したことを他の教科でも活用する授業を実施する。これまでに調べたことや知ったことを材料とし、「話したい」、「書きたい」と思えるようにさせることで、主体的な課題解決につながる授業を設定する。また、本年度の学習を振り返り、次年度へ向け、教科ごとの関連付けを図る。【毎学期】 ・考えを整理する活動を設定する。ペアやグループで考えを伝え合う活動を取り入れ、「なぜそう考えたのか」などの資料や事実を根拠にしたのかを説明する場面を設け、根拠をもとに考えを表現する経験を積み重ねることで、思考力・判断力・表現力の向上を図る。【単元に1回以上】

ざらざら(楕円)

⑤	年度末評価	
学力向上策の 実施状況	評価(※)	
↓		
今年度の成果と 次年度の課題		

- ① 結果分析(管理職・学年主任等)
- ② 詳細分析(学年・教科担当)
- ③ 分析共有(児童生徒の実態把握)

結果提供(2月)

児童生徒の
学力の向上

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

②	全国学力・学習状況調査結果の分析	
特徴的な結果		
↓		
結果から考えられる 児童生徒の実態		

調査の振り返り(4月)

結果提供(7月)

学力向上策の実施

- ① 学校全体での取組
- ② 単元テスト・定期テスト等の分析・活用
- ③ 調査問題を活用した授業

④	さいたま市学習状況調査結果の分析	
特徴的な結果		
↓		
結果から考えられる 児童生徒の実態		

- ① 学校全体での取組
- ② 単元テスト・定期テスト等の分析・活用
- ③ 中間評価を経た取組
- ④ 調査結果を活用した授業

③	中間評価	
学力向上策の 実施状況	評価(※)	
↓		
学力向上策の 見直し		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

教育研究所